

1～3年

社会・総合

地域のよさを生かして活性化を考えよう

年

組

番

名前

☆記事から、どのような地域のよさを生かし、どのように活性化を図ろうとしているのか読み取ろう。

☆自分が暮らす地域のよさを見つけ、その活性化を考えよう。

コピーを生徒に渡す際、下記の指導アドバイスの部分は消してからコピーしてください。

＊指導する先生や保護者の皆様へ（島田市立川根中学校・矢澤和宏）
新聞には、「地域のよさを再発見できるような記事」や「地域の人々の工夫・努力を伝える記事」がたくさん載っています。それを見つけることで、地域への関心が高まり、愛着もわき、ますます地域のことを知りたくなると思います。

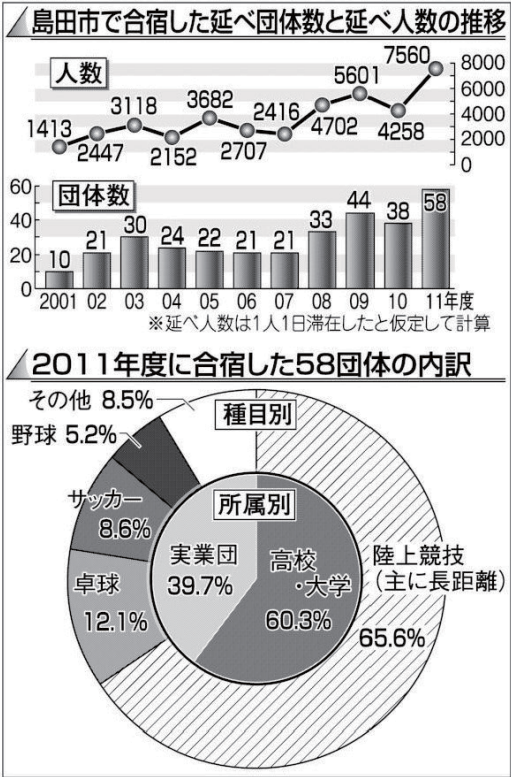
島田市が市外の企業や大
学、高校の競技団体のスポー
ツ合宿誘致を始めて3月で丸
10年。誘致の延べ数は初年度
の10団体から昨年度は58団体
へと、着々と伸びている。波
及効果と展望を追った。

2001年、国土交通
省が島田、焼津両市の河
川敷にマラソンコースを
整備したのを機に、島田
市は同年、県内の自治体
に先駆けて誘致に乗り出
した。

市スポーツ課の職員が
主要大会に出向いて誘致
活動を行う。合宿を引き
受けると、宿泊施設や食
事、競技場の手配から送
迎まで一手に担う。「チ
ームが練習に集中でき
る、日本一のトレーニン
グ環境を目指している」
と前田勇夫市スポーツ経
済部長。選手や監督らチ

島田市のスポーツ合宿誘致10年

団体数 初年度の6倍



地域活性化に寄与

「ム関係者を「お客様」と呼び、合宿中は24時間、職員がフォローできる態勢を取る。リピーターになってもうため「チームと職員の心と心のつながり」を重視。気配りを大切に行っているという。

企業、大学、学校の公認クラブを対象に06年度から、1団体1回上限30万円、1人1泊1200円を補助。09年からは静岡空港利用者へ、上限同額で1人1万円の航空運賃を補助している。11年度の当初予算額は280万円。効果は主に二つある。ひとつは、まともな人員の長期滞在による、宿泊施設や飲食店などの経済的な活性化。そして選手と市民の交流が生む、市民スポーツのレベル向上や地域の活性化だ。

11年度の実績によると1団体当たり2～90人が、2～10日間ずつ滞在した。滞在中は延べ58団体の7560人。全団体の滞在日数合計は332日。トレーニングは全て公開される。滞在中の選手らが市民向けに卓球教室やランニングセミナーを開いたり、積極的な交流の機会も増えた。市はさらなる誘致を目指し、新たなスポーツ施設や宿泊施設の整備を進めている。現在は陸上競技の団体が65%を占め、秋口から春先の滞在が目立つが、競技種目の幅を広げて夏季の受け入れも増やすつもりだ。

(島田支局・伊豆田有希)